

NISSIN 日清食品ホールディングス

NISSIN REPORT

第63期 中間 株主通信

2010年4月1日から2010年9月30日まで

日清史上、最高傑作



もっと「食」を動かそう。

NISSIN
GROUP

日清食品グループは、No.1ブランドの集合体を目指し、「ブランディング・コーポレーション」実現に取組み、より一層、企業価値を高めてまいります。



日清食品ホールディングス株式会社
代表取締役社長・CEO

岩崎宏基

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第63期中間決算(2010年4月1日～2010年9月30日)のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

中期経営計画の推進

世界経済は未だ金融恐慌の余波から抜け切れず、厳しい環境が続きますが、どんな時代、状況にあっても、人間は食べなければ生きていけません。食品メーカーにとって、不況期こそが成長のチャンスだと考えています。

日清食品ホールディングスでは、2010年度から2012年度までの3カ年をグループの重要な成長期ととらえ、中期経営計画「UNITE FOOD POWERS 2012」を策定、スタートさせました。

本計画は、グループの「イノベーション力」「マーケティング力」「収益力」を結集し、2012年度の売上高4,300億円、営業利益355億円を目標に掲げたもので、その達成に向けて、日本国内ではグループ企業の総力を挙げてヒット商品の開発に努め、海外では更に力強い成長を実現するためのグローバル戦略を推進しています。

事業の概況

当第2四半期のわが国経済は、個人消費の自律的回復に向けた動きがみられる一方、急激な円高の進行、海外経済の減速、雇用情勢の悪化など、依然として厳しい環境下にありました。当社グループのコア事業である即席めん業界においても、国内では少子化による食品市場全体の縮小や、景気低迷の影響によって総需要が頭打ちになっています。そこへ、9月上旬まで続いた記録的な猛暑の影響を受けて、即席めんの販売も減速を余儀なくされました。

このような状況下ではありますが、当社グループでは、引続き多様な消費者ニーズに対応した新製品開発を行うとともに、当社の技術力を発揮した品質の向上や、付加価値の高い製品の提案を積極的に行っており、まいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比1.5%減の1,758億31百万円となりました。減収の要因は、国内における猛暑の影響、及び、海外の急激な円高による為替変動の影響が大きく、米州及び中国においても前年同期を下回りました。

利益面においては、営業利益は退職給付費用の減少により前年同期比16.0%増の143億79百万円となりました。経常利益は為替差損等の発生により前年同期比3.1%減の152億68百万円となりました。当四半期純利益は前年同期比8.6%減の95億20百万円となりました。

今後の取組み

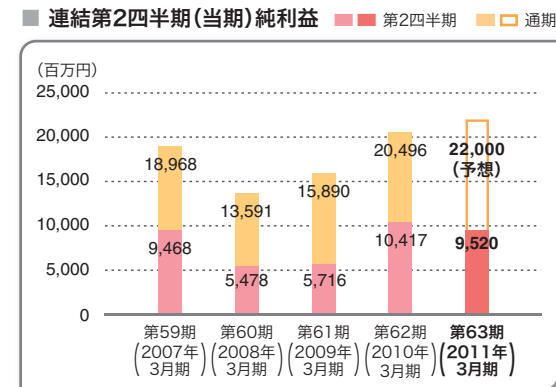
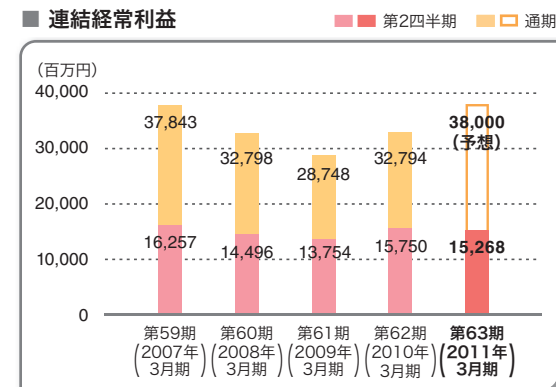
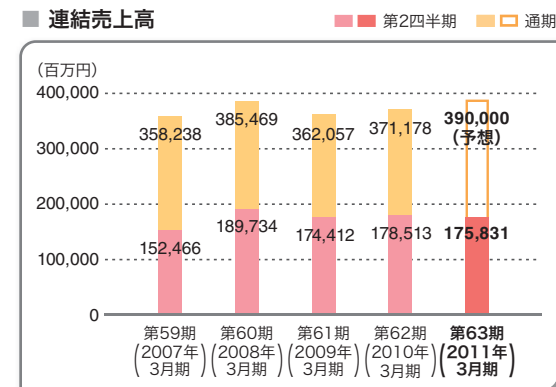
日清食品グループは、「食の安全」を経営の最重要課題と位置づけています。そのために、新規設備投資、既存設備の刷新等を積極的に行い、安全で安心な品質の管理に全力を注ぎます。また、技術革新とマーケティングを経営の両輪として、グローバル戦略を推進していきます。めんの革新技術をベースに、グループ企業が横断的に連携し、海外に通用する人材育成をはじめ、海外現地法人をサポートする強力な体制を組んでいきます。

同時に、「サステナビリティ(持続可能性)」を企業マネジメントのもう一つの課題とし、温暖化や資源の枯渇、人口増加と食糧需給、飢餓撲滅など、持続可能な地球環境の保全のために、企業として参画する「CSR活動」にも積極的に取り組んでまいります。

日清食品グループの理念である「EARTH FOOD CREATOR」を目指して、地球規模でのマネジメントを進め、さらなる飛躍に向けて精進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2010年11月



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第62期 (2010年3月31日現在)	第63期 (2010年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	155,810	149,207
固定資産	252,600	258,499
有形固定資産	109,278	125,573
無形固定資産	4,850	4,560
投資その他の資産	138,471	128,366
資産合計	408,410	407,707
負債の部		
流動負債	88,088	88,178
固定負債	48,371	46,754
負債合計	136,459	134,933
純資産の部		
株主資本	276,948	282,610
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	223,857	229,463
自己株式	△ 20,448	△ 20,392
評価・換算差額等	△ 10,695	△ 15,848
その他有価証券評価差額金	3,587	31
土地再評価差額金	△ 7,682	△ 7,649
為替換算調整勘定	△ 6,600	△ 8,230
新株予約権	204	428
少数株主持分	5,494	5,584
純資産合計	271,951	272,774
負債純資産合計	408,410	407,707

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	第62期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	第63期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	178,513	175,831
売上原価	98,699	95,230
売上総利益	79,814	80,601
販売費及び 一般管理費	67,418	66,221
営業利益	12,395	14,379
営業外収益	3,880	2,667
営業外費用	525	1,778
経常利益	15,750	15,268
特別利益	135	946
特別損失	463	470
税金等調整前四半期純利益	15,422	15,744
法人税等	4,748	6,016
少数株主損益調整前 四半期純利益	—	9,727
少数株主利益	256	206
四半期純利益	10,417	9,520

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 資産、負債、純資産の状況

● **資産**: 資産は、前連結会計年度末に比べて7億2百万円減少し、4,077億7百万円となりました。これは主に設備投資により有形固定資産が162億94百万円増加する一方、売上債権等の減少により流動資産が66億2百万円減少したことや、投資有価証券の減少により投資その他の資産が101億4百万円減少したことによるものです。

● **負債**: 負債は、前連結会計年度末に比べ15億25百万円減少し、1,349億33百万円となりました。これは主に退職給付引当金等の減少により固定負債が16億16百万円減少したことによるものです。

● **純資産**: 純資産は、前連結会計年度末に比べ8億23百万円増加し、2,727億74百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が51億85百万円減少したものの、利益剰余金が56億5百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は65.4%、1株当たり純資産は2,410円45銭となりました。

■ セグメント別の状況

● **日清食品**

第1四半期に引続き、生めん食感のノンフライめん「日清 麺職人」シリーズが大幅に伸長し、「日清 太麺堂々」シリーズ、「日清のどん兵衛」シリーズなど「太麺」を基軸とした製品群が堅調に推移しました。しかし7月、8月の記録的な猛暑が大きく影響し、全体では厳しい環境となりました。

● **明星食品**

第1四半期の状況同様、市場における特売価格が低下する中、ブランド価値を損なわない適正価格での販売を推し進めていることと、猛暑による特売等販促機会の減少により、基幹ブランドの「チャルメラ」「一平ちゃん」など量販店を主体に販売する製品群の売上が伸び悩み、前年実績には及びませんでした。

● **低温事業**

日清食品チルド(株)では、「つけ麺の達人」シリーズや「冷たいトマトのラーメン」が好調に推移するほか、「横手風焼そば」をはじめとするご当地焼そばも堅調に推移しました。日清食品冷凍(株)でも「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズやご当地

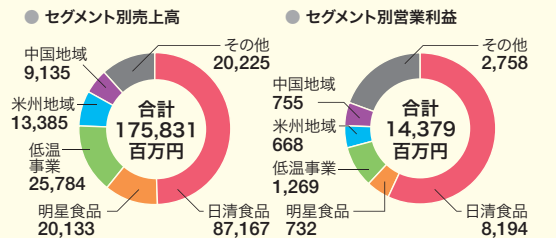
焼そば「冷凍 日清横手風焼そば」が好調に推移しました。

● **米州地域**

「Top Ramen」や「CHOW MEIN」「Bowl Noodles」が堅調に推移しましたが、「Cup Noodles」が苦戦しました。

● **中国地域**

高価格帯製品の販売が堅調に推移しましたが、既存の袋めんや冷凍製品の売上が減少しました。



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第62期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	第63期 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,488	5,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,846	△ 5,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,693	△ 1,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	830	△ 605
現金及び現金同等物の増減額	472	△ 2,045
現金及び現金同等物の期首残高	71,491	72,688
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	631	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,595	70,666

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フローの状況

● **営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動による現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の増加は55億18百万円(前年同期比119億70百万円の資金の減少)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益157億44百万円や減価償却費54億7百万円の増加と、法人税等の支払額94億5百万円や仕入債務の増減額34億43百万円の減少によるものです。

● **投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資活動による資金の減少は58億70百万円(前年同期は18億46百万円の資金の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出141億23百万円の減少と、有価証券の売却及び償還による収入75億4百万円の増加によるものです。

● **財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動による資金の減少は10億86百万円(前年同期比186億6百万円の資金の増加)となりました。これは主に配当金の支払額38億72百万円の減少と、長期借入れによる収入33億70百万円の増加によるものです。

■ インスタントラーメンの限界を超えた「次世代めん」を開発

日清食品では、めんの品質追求をテーマに、「太ストレート麺製法」と「3層麺製法」を合わせた「3層太ストレート製法」(特許申請中)を新たに開発しました。ストレート麺製法では、のどゴシの良いストレートめんを、太麺製法では、湯戻りが良く食べごたえのあるめんを実現し、好評を得ています。これに、内層と外層に異なる配合を用いて、サンドイッチ状に貼合わせる3層麺製法を組み合わせたのが「3層太ストレート製法」です。この革新的技術を採用した第一弾商品が「日清ラ王」です。めんの太さはもちろん、表面の舌ざわりや中心の弾力感、そして中華めん独特の風味など、生めんなら

ではの特徴を表現できるようになり、ラーメン専門店の生めんに匹敵する、これまでにないおいしさを実現しました。

これまで実現できなかっためん質と厚みを持つこの「次世代めん」は、「日清ラ王」に続き「日清のどん兵衛」、「日清 太麺堂々」にも採用されています。

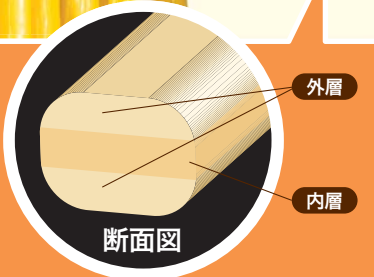
■ 3層太ストレートめん



ストレート麺製法 (特許取得)
“ちぢれ”が常識のカップめん、のどゴシのよいストレートを実現!

3層麺製法 (日清食品独自技術)
3層構造の、外層でなめらかな舌ざわりを、内層でコシともちもち感に加え、生めんのような香りまでも表現!

太麺製法 (特許取得)
芯までしっかり戻る、これまでにない食べごたえを実現!



3層麺製法とは・・・

めんの内層と外層でそれぞれ異なる配合を用いて、多彩なめんの表現を可能とする製法。

- 例えば
- 外層は生めんらしいソフトな歯ざわりで内層はコシのある食感に。
 - 小麦やかんすいの香りを内層に練り込んで風味豊かに。
 - 内層と外層を組み合わせることで、更に太い、湯戻りの良いめん。

「技術イノベーション力」と「マーケティング力」を駆使した商品開発をグローバルに展開

日清食品グループは、グローバル戦略を力強く推進し、事業強化と収益性の向上に取り組んでいます。特に成長市場において、日本の革新的なめん技術の

応用など、新技術の開発・導入を積極的に図り、他社と差別化した新製品の市場投入、ブランド育成に努めています。

1 米国日清 「スプーンで食べられるNoodle」= 「Spoonable Noodles」を発売!

2010年8月、「Spoonable Noodles」をコンセプトに、同社独自の技術でカットした3cmほどの短いめん(Chopめん)を、肉感の強いスープと共に楽しめる商品を開発しました。「スープリッチ」が特徴の「Rich & Savory」のリニューアル品として発売し、同ブランドの更なる活性化を図ります。



2 中国(広東日清)「U.F.O.」のめんが「3層太ストレートめん」に!

2010年9月、広東順徳日清食品有限公司の「U.F.O.」のめんが同社独自の技術を用いた「3層太ストレートめん」になりました。これにより、従来のカップ焼そばとは一線を画す、生めんのように本格的な見た目と食べごたえのある食感を実現しました。当商品のリニューアルにより、同ブランド及びカップ焼そば市場の更なる活性化を図ります。



3 中国のレンジパスタが販売好調!

2009年4月に発売したレンジパスタの販売が広東・上海で大変好調です。ストレートめん技術による今までにない本格的なパスタを、「レンジ調理で水から6分」という新概念で提案しました。これが、ライフスタイルの欧米化が急激にすすむ中国都市部の人々のニーズに合致し、新規カテゴリー商品として定着しました。



4 インド日清 販売好調!

近年インドのインスタントラーメン需要は急速に拡大しており、インドニッシンフーズLtd.の販売も好調に推移しています。同社は主力商品の「Top Ramen」を近年リニューアルし、商品の競争力を強化しました。また、自社販売網を構築し、販売力を高めました。従来、めん文化の無かったインドにおいて、インスタントラーメンの啓蒙活動を行い、新しい食文化の普及に貢献しています。



日清食品

日清のどん兵衛(リニューアル)

発売地区：全国(北海道は北のどん兵衛)

多くの皆様からご愛顧をいただいている「日清のどん兵衛」のうどん6品を全国でリニューアル発売しました。今回は、「ニッポンのうどん」というコンセプトのもと、「三層太ストレート製法」を導入し、つるみのある表面と、もちりとねばりのあるコシを持つ、2mmを超える厚さのストレートめんを実現しました。



カップヌードルごはん

発売地区：近畿地区先行発売(販売エリア順次拡大予定)

今や国民食ともいわれるカップめん「カップヌードル」。その味を、ごはんで再現したユニークな商品を開発しました。電子レンジを使ってスープでごはんを炊くことで、カップヌードルのおいしい味が、ごはんの隅々に染みわたります。忠実に再現した具材とともに「カップヌードル味のごはん」を楽しめる商品です。



明星食品

明星 究麺 濃厚味噌(リニューアル)

発売地区：全国

明星独自のスーパーノンフライ製法の技術を結集した「明星 究麺 濃厚味噌」をリニューアル発売しました。めん食感、旨さを追求した“究麺品質”を更に進化させ、コシのある新食感・太ちぢれめんが濃厚スープに絡む、王道味覚の味噌ラーメンに仕上げました。



日清食品チルド

日清のラーメン鍋 とんこつ味

発売地区：北海道、沖縄を除く全国

冬の鍋への新たなご提案として「ラーメンのスープで食べるお鍋」をコンセプトとした商品を開発しました。鍋つゆは白濁した、旨みたっぷりのとんこつ味。つゆのほかにそのまま鍋に入れて煮込むだけで食べられる湯切り不要の中華めんがついており、手軽にボリューム満点のお鍋が楽しめます。



日清食品冷凍

冷凍 日清のラーメン屋さんプラス 中華そば

発売地区：全国

小麦の風味が生きたコシのある本格中華めんです。スープによく合う細ウェーブめんと鶏ガラをベースに丸大豆醤油で仕上げた昔懐かしい醤油スープ。具材には、チャーシュー、メンマ、小松菜をプラスしました。お鍋ひとつで簡単に調理できます。



日清シスコ

パティシエのこだわり
ダックワーズ バニラ味 3個入/6個入

発売地区：全国

メレンゲのふんわりやわらかな食感が特徴の洋菓子です。丁寧に立てたメレンゲにアーモンド風味をきかせ、表面はさくっと、中はふわっと焼き上げたこだわりの一品。バニラクリームをはさみ、コク深いおいしさに仕上げました。



グループトピックス

「日清ヨーク 関西工場」竣工

日清ヨークが、西日本地区における初の生産拠点として、兵庫県西脇市にかねてより建設していましたが、関西工場が、2010年9月1日に竣工しました。工場の稼働に先立ち、西日本地区の営業拠点も拡充。これにより、基幹商品である「ビルクル」の販売チャネルの拡大が可能となりました。今後、ビルクルの売上高150% (2012年計画/2009年度比)を目指し、全国規模のブランドに育成します。



味の民芸フードサービス
「手延べうどん 水山」2店舗新規オープン

味の民芸フードサービスは、2010年8月25日に横浜駅直結の『相鉄ジョイナス』地下1階に、11月10日にJR根岸線港南台駅前「港南台パース」3階に「手延べうどん 水山」を新規出店しました。ツルツルの食感が特徴の「手延べうどん」と、利尻昆布や鹿児島枕崎産の厳選した削り節などを使用し、毎日店舗で手づくりしている「だし」にこだわったつゆで商品を提供しています。



ひやくふくし
「百福士プロジェクト」第6弾
「“走食系チルドレン”育成プロジェクト」
をスタート

※2008年の創業50周年を機に、今後50年間に
合計100の社会貢献活動を行うプロジェクト

「食とスポーツは健康を支える
両輪である」という創業者・安藤
百福が遺した言葉のとおり、「食」
と「スポーツ」は子どもたちの健全
な成長には欠かせません。

しかし、食生活をめぐる環境は
大きく変化し、子どもたちのスポーツ
離れによる体力や運動能力の低下
が社会的問題となっています。

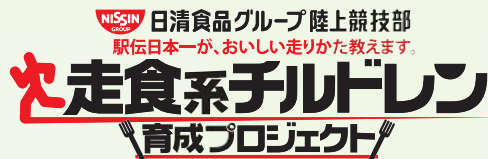
そこで日清食品グループでは、子どもたちにスポーツ
の基礎となる正しい走りかたと正しい食の知識を伝える
活動として、「“走食系チルドレン”育成プロジェクト」
をスタートしました。

このプロジェクトでは、2010年全日本実業団駅伝で
日本一に輝いた日清食品グループ陸上競技部の選手た
ちが、2010年9月から2012年8月までに日本全国の小
学校(計50校の予定)を訪問し、食育教室やランニング
教室などを実施します。また、選手自身がこれまでの人生
で学んだ大切な思いや考え方を伝え、子どもたちの心身
の健全な成長を支援します。



左：正しいランニングフォーム
を学んだ後は、400mリレーに
挑戦(群馬県 伊勢崎市立あずま
北小学校)

右：授業の後には、子どもたち
と一緒に給食を食べ、楽しく交
流(群馬県 前橋市立原小学校)



授業内容

① 食育教室

映像やテキストを使いながら選手自らが、インスタント
ラーメンの発明物語や、製造工程などを紹介し、発明、発見、
創意工夫や栄養バランスの良い食事の大切さを伝えます。

② ランニング教室

選手たちが、子どもたちとふれあひながら楽しく「正しい
走り方」や「走ることの大切さ」を伝えます。

③ ホームルーム・給食

選手自身がこれまでに学んだ、あきらめない気持ちや思い
やりなど、生きる上で大切な思いや考え方を語ります。
また、子どもたちと給食をともにしてコミュニケーションを
深めます。

会社概要 (2010年9月30日現在)

商号	日清食品ホールディングス株式会社 (NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.)	東京本社の所在地	東京都新宿区新宿六丁目28番1号
設立	1948年9月	大阪本社の所在地	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
資本金	25,122,718,774円	事業内容	グループ事業会社(国内・海外)への 経営サポート等
従業員数	391名		

役員及び執行役員 (2010年9月30日現在)

取締役

代表取締役 取締役社長・CEO
代表取締役 取締役副社長・COO
日清食品(株)代表取締役社長
専務取締役・CMO
日清食品(株)代表取締役副社長
常務取締役・CSO
常務取締役
日清食品チルド(株)代表取締役社長
兼 日清食品冷凍(株)代表取締役社長
取締役・米州総代表
兼 米国日清代表取締役社長
取締役・CDO
兼 食品総合研究所長
取締役・CFO
取締役(社外取締役)
取締役(社外取締役)
取締役(社外取締役・独立役員)

(注)取締役 石倉洋子氏につきましては、名前が著名であるため、本書をはじめ
取締役氏名を記載する当社の書類には、すべて上記のとおり記載しており
ますが、本名は、栗田洋子氏です。

監査役

常勤監査役
常勤監査役(社外監査役)
監査役(社外監査役)
監査役(社外監査役・独立役員)

(注)独立役員とは、株式会社東京証券取引所及び株式会社大阪証券取引所の
企業行動規範において届出が定められたものです。

安藤 宏 基
中川 晋
安藤 徳 隆
松尾 昭 英
成戸 隆 之
笹原 研
田中 充
横山 之 雄
小島 順 彦
小林 栄 三
石倉 洋 子

牧園 俊 作
金森 一 雄
堀之内 徹
高野 裕 士

執行役員

上席執行役員・アジア総代表
兼 日清シンガポール代表取締役社長
上席執行役員・欧州総代表
兼 ドイツ日清代表取締役社長
上席執行役員・特命事項担当
上席執行役員・CQO
兼 食品安全研究所長
執行役員・中国総代表
兼 香港日清代表取締役社長
執行役員・総務部長
執行役員・事業戦略本部副本部長
執行役員・技術統括部長
執行役員・宣伝統括部長
執行役員・CAO 兼 広報部長
執行役員・事業戦略本部副本部長
執行役員・CPO

松村 泰 治
鉄林 修
横越 隆 史
山田 敏 広
安藤 清 隆
右近 龍 也
楠本 一 人
坂井 孝 司
佐々木 智
服部 秀 樹
広田 喬 司
山田 恭 裕

CEO (最高経営責任者、Chief Executive Officerの略記)
COO (最高執行責任者、Chief Operating Officerの略記)
CMO (グループマーケティング責任者、Chief Marketing Officerの略記)
CSO (グループ事業戦略責任者、Chief Strategy Officerの略記)
CDO (グループ食品総合研究責任者、Chief Development Officerの略記)
CFO (グループ財務責任者、Chief Financial Officerの略記)
CQO (グループ安全研究責任者、Chief Quality Officerの略記)
CAO (グループ管理責任者、Chief Administrative Officerの略記)
CPO (グループ生産責任者、Chief Production Officerの略記)

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

配当金受領株主確定日：期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数：100株

定時株主総会：6月中に開催

基準日：3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
定めます。

公告の方法：電子公告の方法により行います。ただし、電子
公告によることができない事故その他のやむ
を得ない事由が生じたときは、日本経済新聞
に掲載する方法により行います。
(公告掲載URL)
<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人
特別口座の：みずほ信託銀行株式会社
口座管理機関

株主名簿管理人：大阪市北区曾根崎二丁目11番16号
事務取扱場所：みずほ信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部

郵便物送付先：〒168-8507
及ぶお問合せ先：東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)

上場金融商品取引所：東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部

株主様ご優待

基準日	対象株主様	ご優待内容
3月31日 (6月贈呈) 及び 9月30日 (12月贈呈)	100株以上 1,000株未満 ご所有の株主様	1,500円相当の 当社グループ会社の 製品詰合せ
	1,000株以上 ご所有の株主様	3,500円相当の 当社グループ会社の 製品詰合せ

NISSIN 日清食品ホールディングス株式会社

東京本社 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号
TEL (03) 3205-5111 (代表)

大阪本社 〒532-8524 大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
TEL (06) 6305-7711 (代表)

ホームページ <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>



GREEN PRINTING JPPI
P-B10060

ご案内

(1) 中間配当金のお支払いについて

第63期中間配当金につきましては、次のいずれかの方法によりお支払い申しあげます。

① 「中間配当金領収証」によりお受取りの株主様
同封の「第63期中間配当金領収証」裏面記載のお支払方法
をご確認いただき、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にて
お受取りください。

② 「口座振込」によりお受取りの株主様
配当金の口座振込をご指定の株主様には、「配当金計算書」
及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の
株主様には、「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法に
ついて」を同封いたしましたので、ご確認ください。

また、同封させていただきました「配当金計算書」は、租税
特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております
ので、確定申告をされる株主様は、申告期日まで大切に保管く
ださいようご案内申しあげます。

なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様は、お取扱
いが異なりますので、お取引証券会社等にお問合せください。

(2) 株式に関するお手続きについてのお問合せ先について

株式のお手続きに関するお問合せ先		
口座の種類	証券会社等の 一般口座等	当社の特別口座利用 (※)
お手続内容	証券会社等	特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
住所変更、単元未満株式 買取請求等各種手続	一般口座等開設の 証券会社等	TEL0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座から証券会社等の 個人口座への振替請求	—	—

※2009年1月5日の株券電子化時に株券をお手元で保管されて
いた株主様の株式につきましては、当社が開設しました特別口
座において管理されております。特別口座で管理されております
株式を一般口座(株主様が証券会社等に開設されました口座)
に振替えいただくことができますので、上記のみずほ信託銀行
株式会社証券代行部までお問合せください。

(3) 株主様専用電子メールアドレスのご案内

当社は、株主様からのご意見をお電話、お手紙の他に電子メー
ルを利用してお寄せいただくための専用電子メールアドレスを設
けております。

当社についてお気付きの事柄がございましたら、次のメールアド
レスまでご意見をお寄せ下さい。

なお、お電話、お手紙でもお待ち申しあげております。

① 株主様専用電子メールアドレス
E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp

② ご連絡先
〒160-8524
東京都新宿区新宿六丁目28番1号
日清食品ホールディングス株式会社
総務部 株主様係
TEL (03) 3205-5111 (代表)
FAX (03) 3205-5059
E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp